



小城市

小城スマートインターチェンジ 整備効果

小城市役所

1. 事業概要

- ・ 長崎自動車道に小城スマートIC(小城PA接続)が平成30年3月31日に開通。
- ・ ETC(車載器)搭載車両限定で通過することができるスマートICである。

事業の経緯

平成23年3月25日

小城スマートインターチェンジ (仮称) 地区協議会設立

平成24年3月5日

小城スマートインターチェンジ (仮称) 地区協議会から日本高速道路保有・債務返済機構及び西日本高速道路株式会社に対して実施計画書の提出

平成24年4月3日

小城市長から国土交通大臣に対して連結を申請

平成24年4月17日

国土交通大臣から小城市長に対して連結を許可

平成24年5月17日

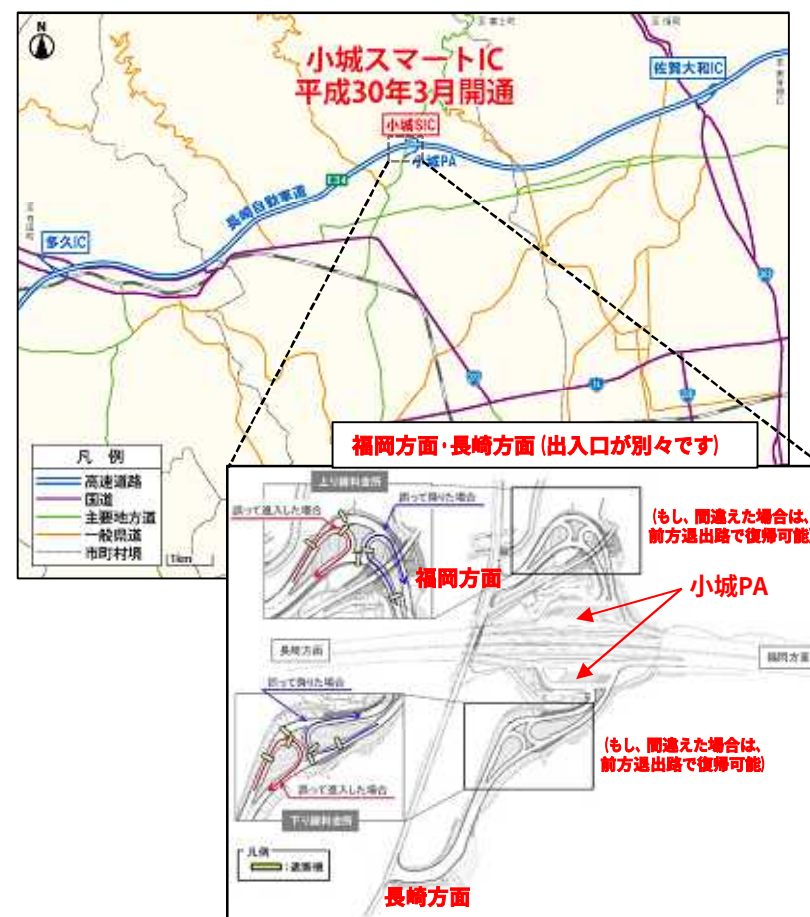
工事着手

平成29年11月1日

名称を小城スマートインターチェンジに決定

平成30年3月31日

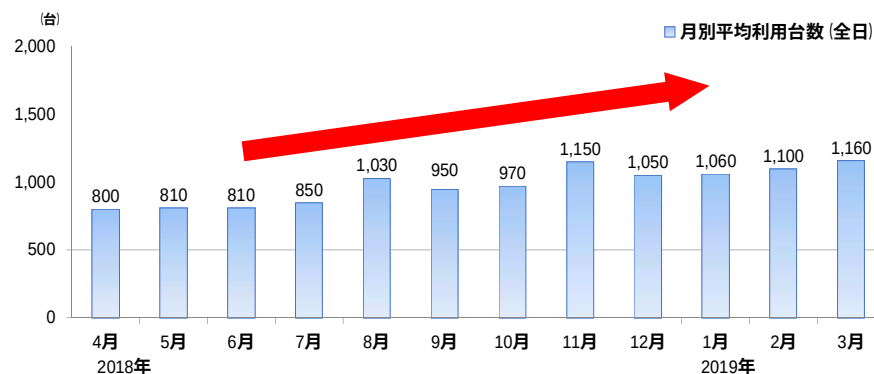
小城スマートインターチェンジ開通



2. 小城スマートICの利用は増加傾向！

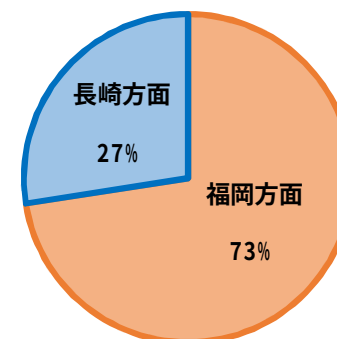
- 小城スマートIC利用台数は、毎月増加傾向である。
- 利用としては福岡方面の利用が約7割を占めている。
- 小城スマートICを利用する理由として、目的地まで早く着く、ICに近いが多く、国道203号や市街地で渋滞に巻き込まれない等がある。

▼月別出入り利用台数 (全日)



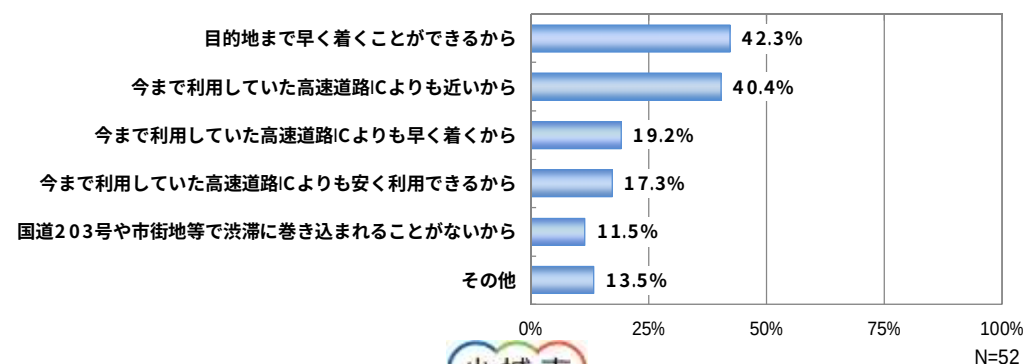
資料：NEXCO西日本提供資料を集計 (※1の位で四捨五入)

▼方面別利用割合 (全日、平成31年3月)



資料：NEXCO西日本提供資料を集計 (方面別上り下り交通量)

▼小城スマートICを利用する理由 (複数回答可)

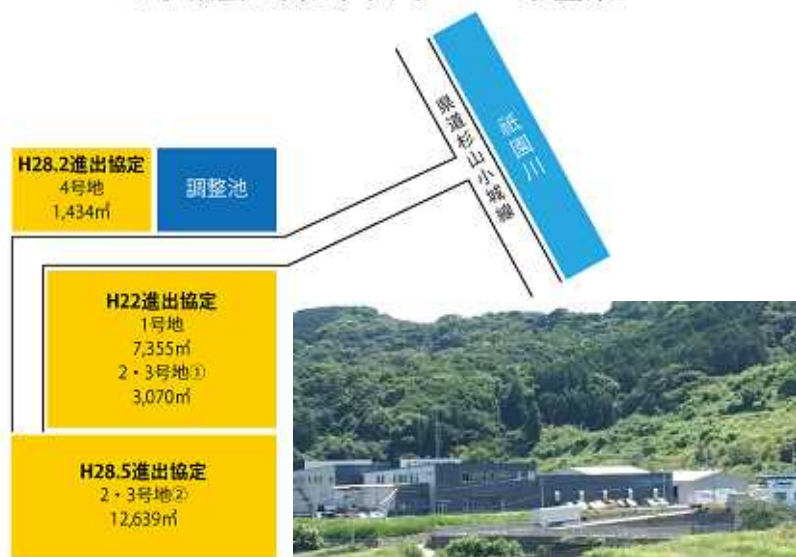


資料：webアンケート調査結果

3. 工業団地への立地促進・利便性向上

- ・ H23年に完成した小城蜚の郷ファクトリーパークは、H30年3月の小城スマートIC開通を見据え、企業立地が進展し、H28年5月に用地が完売した。
- ・ 工業団地立地企業では所要時間短縮に伴う物流効率化や通勤時間短縮などのメリットを享受している。

▼小城蜚の郷ファクトリーパーク企業立地



資料：小城市

出典：小城市HP

▼小城蜚の郷ファクトリーパーク企業立地
位置図



- ・ 立地理由は、小城スマートインターと距離が短く、県外輸送でメリットがあるため。
- ・ 鳥栖に住む従業員が小城スマートICを通勤で利用しており、通勤時間が短くなった。
- ・ 小城スマートインターの開通により長崎や下関、広島等へのアクセスが良くなり、物流の効率化に貢献している。

関連企業ヒアリング調査結果 H30.9



4. 地元企業の物流効率化を支援

- 小城スマートICが開通したことにより、定時性の向上、移動時間の短縮、さらにはコスト削減や労働時間も短縮に繋がっている。

▼整備前後の走行ルート

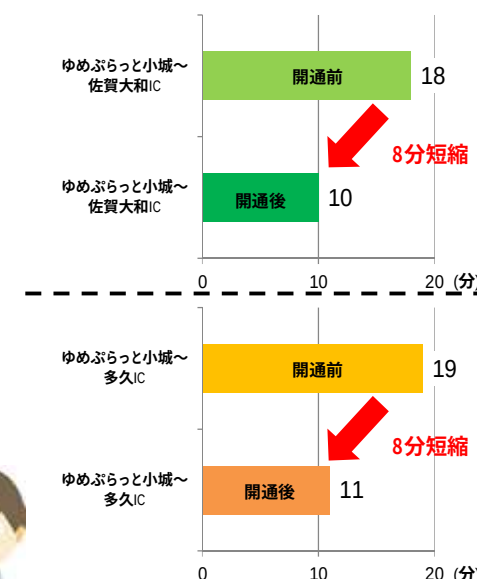


- 福岡、鳥栖、長崎方面への営業や配送で小城スマートICを利用している。
- 営業担当だけでも月10回以上は小城スマートICを利用している。
- 時間に余裕ができたことで、遅刻の心配が少なくなり、安全運転ができ負担が減った。

酒造業者ヒアリング調査結果 H30.11



▼ルート別所要時間



資料：H27全国道路・街路交通情勢調査



- 福岡方面への配送は全車両が小城スマートICを利用している。
- 移動時間が15～20分程度短縮した。
- 従業員の労働時間短縮で働き方改革の実現に貢献している。また、労働時間短縮に伴いコスト削減にも繋がっている。

生活関連サービス業者ヒアリング調査結果 H30.9

5. 多様な業種の企業に利用されています！

- 多様な業種の企業が物資輸送や通勤などで小城スマートICを利用している。

鉱業

・多久ICに向かう道は勾配が厳しいので、長崎方面でも佐賀大和ICを利用していたが、小城スマートインターの開通により長崎や下関、広島等へのアクセスが良くなり、物流の効率化に貢献している。

ヒアリング調査結果 H30.9～H30.10

物流機器製造業

・福岡の営業所と小城の工場を行き来する業務車両は小城スマートICを利用している。長崎方面のお客様訪問の際も利用している。

ヒアリング調査結果 H30.9～H30.10

飲料製造業

・鳥栖に住む従業員が小城スマートICを通勤で利用しており、通勤時間が短くなった。

ヒアリング調査結果 H30.9～H30.10

和菓子製造業

・バンで福岡や鳥栖、有田方面等に搬送している。1回当たり10kgを運んでいる。

ヒアリング調査結果 H30.9～H30.10



アイス製造業

・営業車が急ぎの時に利用している。7月は、月の半分以上利用した。

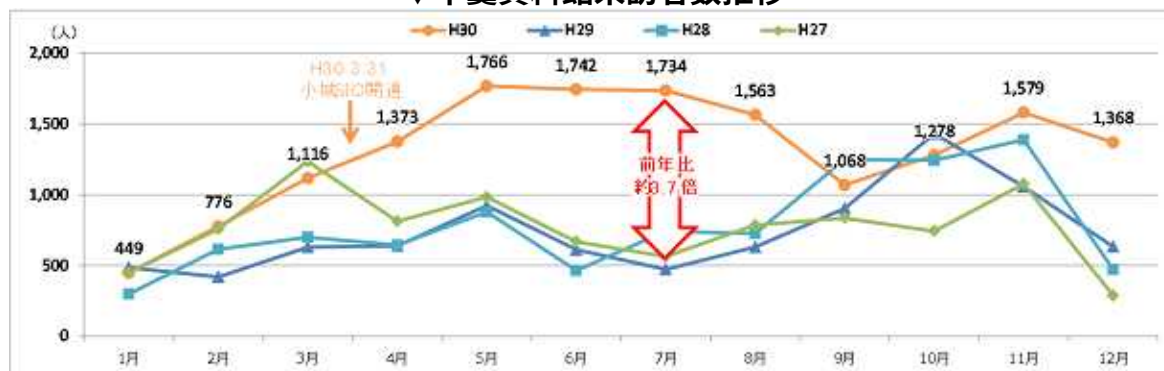
ヒアリング調査結果 H30.9～H30.10

資料：利用企業名調査結果 (H30.10.2)

6. 小城市内への観光客が増加中！

- 小城スマートIC開通後、周辺の観光拠点で来訪者数が増加。羊羹資料館の来訪者数は、H27～H29と比べて約1.7倍に増加（7月は約3.7倍）。
- 佐賀大和IC利用に比べ混雑時の所要時間が10分以上短縮し、羊羹資料館への案内もスムーズになり、観光客増加に寄与している。

▼羊羹資料館来訪者数推移



資料：ヒアリング調査

▼羊羹資料館来訪者年別推移



資料：ヒアリング調査

▼羊羹資料館



出典：小城市HP



・今までは佐賀大和ICから羊羹資料館までの案内説明が大変だったが、現在は小城スマートICを降りてすぐと簡単に説明できるようになった。
・小城スマートICまでは2～3分で到着するため、10分以上時間短縮した。

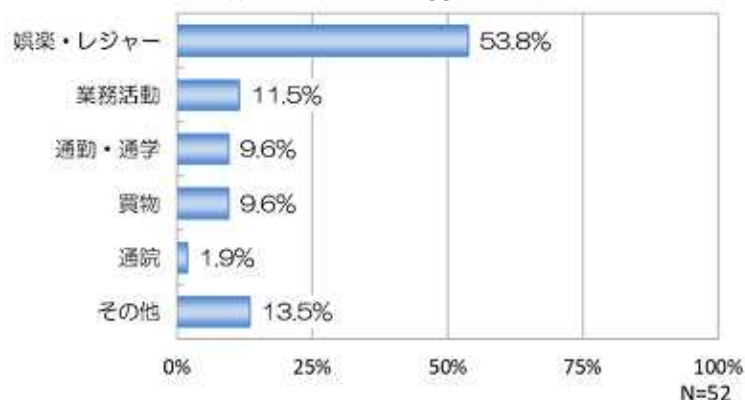


ヒアリング調査結果 H30.10

7. 観光目的の利用が多くなっています！

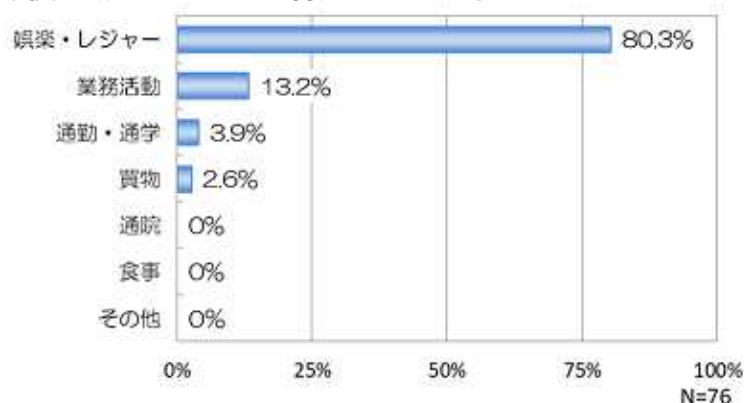
- ・ 小城スマートICを利用したことがある人の目的は、約5割が娯楽・レジャーである。
- ・ 「清水の滝」への日帰りバスツアーや、個人での観光客が多く、近くに小城スマートICが開通したことで観光振興に貢献している。

▼小城スマートICの利用目的



資料：webアンケート調査結果

▼今後小城スマートICを利用する可能性がある人の目的



資料：webアンケート調査結果



・清水の滝への日帰りバスツアーがあり、朝夕に来ることが多い。
 ・昼食は他の場所でとることが多いようである。例えば、朝、清水の滝に来て、お昼に呼子に行くというツアーもある。昼間は個人の観光客が多い。

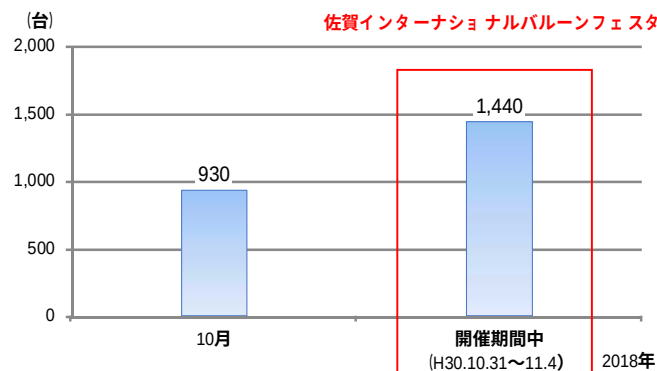
小城市役所ヒアリング調査結果 H30.9



8. バルーンフェスタの来訪者が利用！

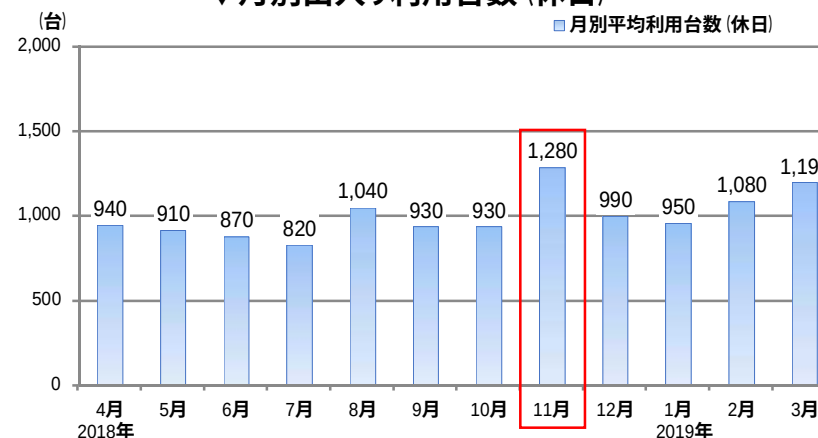
- ・ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ開催時の平均利用台数は、10月に比べて約500台増加している。
- ・ 11月の休日利用台数は10月に比べて約1.4倍となった。

▼佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
10月と開催期間中の小城SIC利用台数



資料：NEXCO西日本提供資料を集計（※1の位で四捨五入）

▼月別出入り利用台数 (休日)



資料：NEXCO西日本提供資料を集計（※1の位で四捨五入）



◀佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

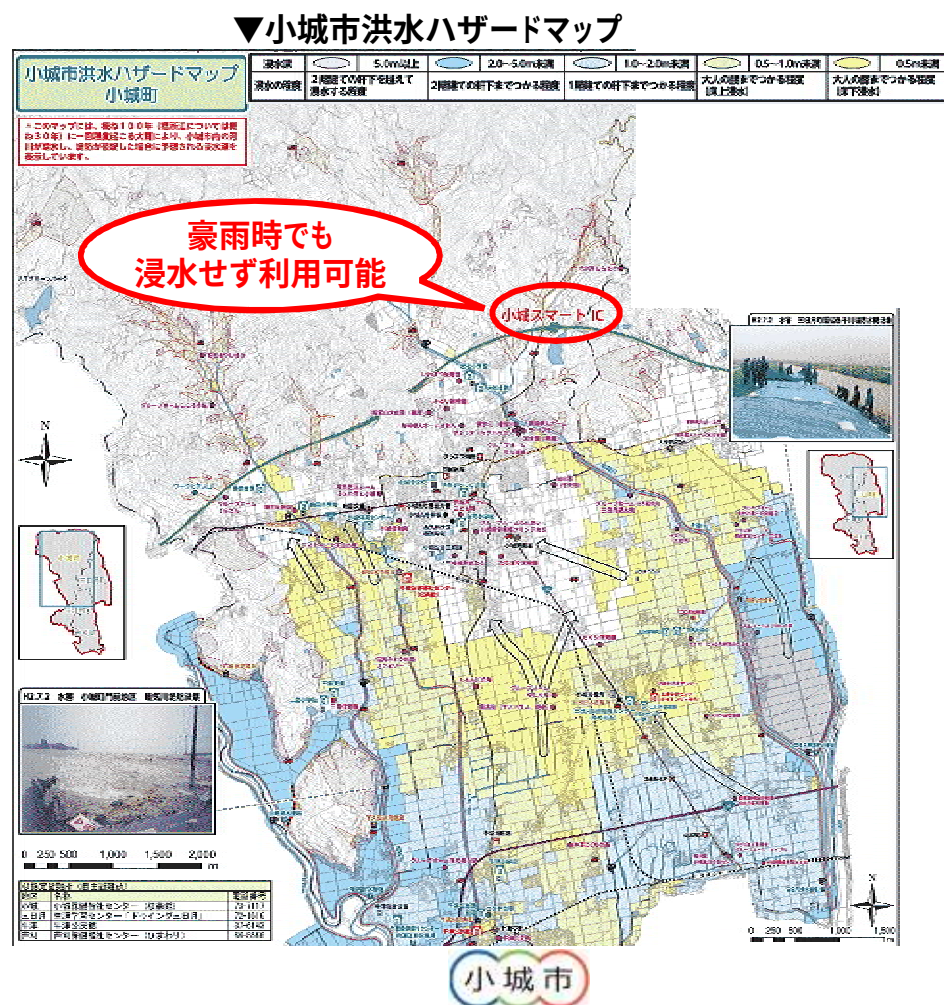
資料：小城市

▼バルーンフェスタ駐車場から小城スマートIC



9. 地域防災への貢献

- 平成30年の7月豪雨と台風24号発生時には、通常より利用台数は少ないものの、小城スマートICが利用されており、地域防災に貢献している。



- 小城スマートICが開通したことで、救急搬送の時間短縮に貢献。
- 高速道路上で事故が発生した場合、現場到着時間が大幅に短縮した（3月末現在：13件）。
- 小城スマートICを利用して小城市内の病院や現場から消防局管轄外の病院へ傷病者搬送している（3月末現在：5件）。

▼救急搬送ルート(高速道路上の事故の場合の想定)



- ・小城スマートIC開通後は、高速道路上で発生した交通事故や小城PA内での急病事故(3月末現在:13件)に対し、現場到着時間が短縮した。
- ・小城市内から消防局管轄外の病院へ傷病者搬送する際、小城スマートICを利用した。(3月末現在:5件)



佐賀広域消防局
ヒアリング調査結果 H30.10